平成16年度決算の概要

問　財政課

市では、財政事情を市民のみなさんに知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。今回は、平成16年度決算の概要と、平成17年度予算の上半期執行状況などについてお知らせします。

平成16年度各会計別決算

（単位：万円、△はマイナス）

会計名		平成16年度歳入決算額	対前年度伸率(%)	平成16年度歳出決算額	対前年度伸率(%)
一般会計		3,261,250	% △1.3	3,061,296	% △0.9
特別会計	国民健康保険事業	854,257	9.3	846,346	8.7
	下水道事業	304,059	10.7	283,150	5.3
	老人保健医療事業	470,421	△5.9	463,825	△5.6
	介護保険事業	314,078	12.6	299,543	10.4
	小計	1,942,815	5.9	1,892,864	4.6
合計		5,204,065	1.3	4,954,160	1.1

※減税補てん債借換分2,099百万円除く。

平成16年度の決算では、一般会計と特別会計を合わせた額は、歳入520億4406万円（前年度比1・3%増）、歳出が495億4160万円（同1・1%増）となりました。

歳入では、市税収入が193億2989万円で、前年度に比べ2億8726万円の増となっています。これは、法人市民税が3億6056万円増（同23・9%増）となったことが大きな要因となっています。

なお、平成16年度は、平成7年度と8年度に借り入れた減税補てん債の借換え（20億9900万円）を行いましたが、前年度との比較を分かりやすくするため、ここではこの額を除いています。

会計別決算

（増減は対15年度比）

一般会計

歳入は326億1250万円（1・3%減）、歳出は306億1296万円（0・9%減）となりました。歳入・歳出ともに減となった主な理由として、歳入は前年度からの繰越金が大幅に減少したこと、歳出は小児医療費対象年齢の拡大等により、扶助費が大幅に増加したものの、普通建設事業費が大幅に減少（31・5%減）したことなどが挙げられます。

特別会計

◇国民健康保険事業

歳入は9・3%増、歳出は8・7%増となりました。このうち歳入は、国民健康保険税が全体の37・8%を占めています。歳出では医療費の増加に伴い、保険給付費が9・3%増となりました。また、国民健康保険税の現年度分収納率は89・9%でした。

◇下水道事業

歳入は10・7%増、歳出は5・3%増となりました。公共下水道の適正な維持管理に努め、下水管清掃、マンホール補修等を実施し、市内の幹線・枝線工事を行いました。なお、これまで一般会計の土木費で行っていた雨水幹線の整備・維持管理も、16年度から下水道事業特別会計で行いました。

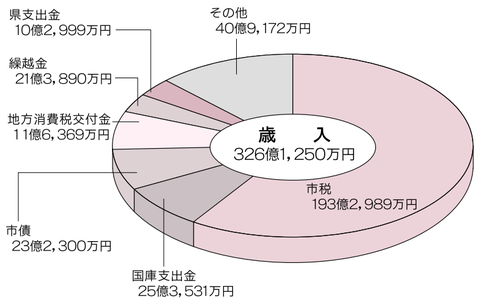
◇老人保健医療事業

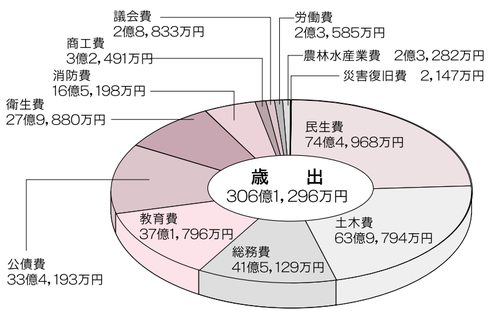
歳入は5・9%減、歳出は5・6%減となりました。歳出では、医療給付費が老人保健法の改正の影響で5・4%減の44億1693万円となっています。老人保健加入者1人当たりの医療費の支給額は約57万円（1・8%減）です。

◇介護保険事業

歳入は12・6%増、歳出は10・4%増となりました。歳入のうち、介護保険料は全体の19・4%を占めています。歳出は、介護サービス諸費が前年度比12・0%の増となり、全体の92・9%（27億8346万円）を占めています。また、介護保険料の収納率は全体で96・2%でした。

一般会計の内訳





平成16年度　主な実施事業

（単位：万円）

○臨時連絡所開設事業　673

相鉄線かしわ台駅構内に連絡所を開設しました。住民票・印鑑・戸籍の各種証明書発行業務及び図書の取次ぎ業務を行い、窓口サービスの向上を図りました。

○小児医療費助成事業　18,756

対象年齢を就学前までの乳幼児に拡大し、医療費の一部を助成しました。少子化対策の推進や乳幼児の健康の増進、保護者に対する医療費の負担軽減を図りました。

○障害者医療費助成事業　24,805

障害者に対し、医療保険対象の医療費のうち自己負担分を助成し、保健の向上と福祉の増進を図りました。

○清掃総務管理事業　1,622

廃棄物の効率的な処理体制を構築するための調査・研究を行いました。また、高齢者や障害者世帯のごみ搬出が困難な場合に戸別収集を行い、併せて安否の確認を実施しました。

○商工業振興対策事業　2,562

市内の商工業の振興を図るため、商工会議所の中小企業相談所が行う事業に対して助成を行いました。また、新事業創出に対する研究事業や商店街の行う売り出し事業抽選会を支援するなど、商工業の振興と活力の育成を図りました。

○鉄道立体交差事業　81,315

海老名駅周辺地区の市街地形成を進めるため、県道下今泉門沢橋線と鉄道とを立体交差化するため、県が事業主体となり、市、小田急電鉄㈱の三者で、小田急線の高架化を進めました。

○伊勢山自然公園整備事業　5,184

市街化区域に残る貴重な緑地空間を保全するため、市民参加のワークショップ方式で策定した公園整備計画に基づき整備を行いました。

○海老名駅自由通路整備（中央三丁目方面）事業
（前年度からの繰越分を含む）　38,704

東口駅前広場部自由通路から中央三丁目方面までをつなぐ歩行者専用通路を整備（平成17年2月利用開始）し、平成15年度からの2カ年継続事業が完了しました。

○上星小学校耐震補強等事業　15,623

耐震・耐力度診断調査結果に基づき、地震による校舎の倒壊などを防ぎ、災害から児童の安全を確保するため、校舎1館（昭和47年建設・2,398㎡）の耐震補強とトイレ改修等の工事を実施しました。

○秋葉山古墳群等保存整備事業　244

これまでの発掘調査で東日本最古級の貴重な古墳群であることが判明したため、国指定史跡申請に向けた土地測量や植栽管理を行いました。（平成17年1月20日申請、7月14日告示）

わがまちの財政事情

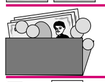
市民ひとりあたりが納めた市税は 155,936円

福祉・社会生活保障に　(24.3%)　37,893円

道路・公園・計画的なまちづくりに　(20.9%)　32,591円

行政の運営に　(13.6%)　21,207円

学校や生涯学習に　(12.1%)　18,868円


市債の償還に　(10.9%)　16,997円

保健・ごみ処理などに　(9.1%)　14,190円

火災・災害から守るために　(5.4%)　8,421円

商工業の振興などに　(1.1%)　1,715円

議会の運営などに　(0.9%)　1,404円

雇用対策などに　(0.8%)　1,247円

農業・園芸の振興などに　(0.8%)　1,247円

災害の復旧に　(0.1%)　156円

※平成17年3月31日の人口123,960人で算出。また、割合は小数点第2位以下四捨五入で算出。

平成17年度 予算の執行状況

―9月30日現在―

一般会計　歳入

（単位：万円）

款	予算現額A	収入済額B	執行率B／A(%)
市税	1,970,221	1,144,838	58.1
地方譲与税	73,000	30,155	41.3
交付金等	237,502	153,254	64.5
地方交付税	8,000	0	0.0
分担金及び負担金	34,111	12,822	37.6
使用料及び手数料	44,363	23,070	52.0
国庫支出金	274,463	96,678	35.2
県支出金	115,622	27,595	23.9
財産収入	1,904	1,725	90.6
寄附金	770	361	46.9
繰入金	403,229	387,255	96.0
繰越金	153,008	153,008	100.0
諸収入	63,869	6,268	9.8
市債	173,550	0	0.0
合計	3,553,612	2,037,029	57.3

一般会計　歳出

（単位：万円）

款	予算現額A	支出済額B	執行率B／A(%)
議会費	29,388	14,034	47.8
総務費	914,414	688,778	75.3
民生費	817,139	405,424	49.6
衛生費	263,374	140,034	53.2
労働費	24,405	22,086	90.5
農林水産業費	21,757	7,918	36.4
商工費	25,306	17,367	68.6
土木費	557,423	136,823	24.5
消防費	194,616	71,745	36.9
教育費	401,629	157,250	39.2
災害復旧費	1,000	0	0.0
公債費	296,472	160,973	54.3
諸支出金	350	0	0.0
予備費	6,339	0	0.0
合計	3,553,612	1,822,432	51.3

特別会計

（単位：万円）

会計名	予算現額A	歳入 収入済額B	歳入 執行率B/A(%)	歳出 支出済額C	歳出 執行率C/A(%)
国民健康保険事業	879,628	364,482	41.4	378,842	43.1
下水道事業	340,301	145,216	42.7	128,174	37.7
老人保健医療事業	471,568	210,003	44.5	195,691	41.5
介護保険事業	352,791	156,571	44.4	136,787	38.8
合計	2,044,288	876,272	42.9	839,494	41.1

財産などの状況

―9月30日現在―

市債の現在高

（単位：万円）

会計	区分	現在高
一般会計	総務債	298,182
	民生債	39,880
	衛生債	76,233
	土木債	782,044
	消防債	28,790
	教育債	249,969
	住民税等減税補てん債	462,328
	臨時財政対策債	353,190
	合計	2,290,616
特別会計	国民健康保険事業	
	保険財政自立支援貸付金	11,700
	下水道事業	
	公共下水道債	1,350,604
	流域下水道債	270,498
	小計	1,621,102
	合計	1,632,802

基金の状況

（単位：万円）

基金名	現在高	備考
財政調整基金	212,016	現金・債券
まごころ基金	5,699	現金
みどり基金	556	〃
市営住宅建設基金	22,207	現金・債券
奨学金基金	10,940	〃
新まちづくり基金	420,467	〃
国民健康保険財政調整基金	7,596	現金
介護保険給付費準備基金	20,508	〃

※基金は、大口定期預金・国債等で運用しています。

市有財産

（単位：㎡）

区分		土地	建物
行政財産	市庁舎	17,022.46	15,878.50
	消防施設	12,712.56	5,485.61
	学校	342,139.30	116,286.84
	公営住宅	18,477.58	4,415.85
	保育園	9,232.48	2,257.64
	児童館	2,043.84	580.45
	公民館	0.00	1,866.25
	公園	357,101.08	21,004.36
	その他の施設	160,080.90	59,120.09
	小計	918,810.20	226,895.59
普通財産（※）	田	167.85	―
	畑	4,264.30	―
	宅地	20,922.03	―
	雑種地	8,363.72	―
	その他の地目	4,652.67	―
	建物	―	459.39
	小計	38,370.57	459.39
合計		957,180.77	227,354.98

注）※は建物以外、公簿地目で分類